

# 霧ヶ峰基金会報

2008年12月・2009年1月号(通算27号)

発行：特定非営利活動法人 霧ヶ峰基金

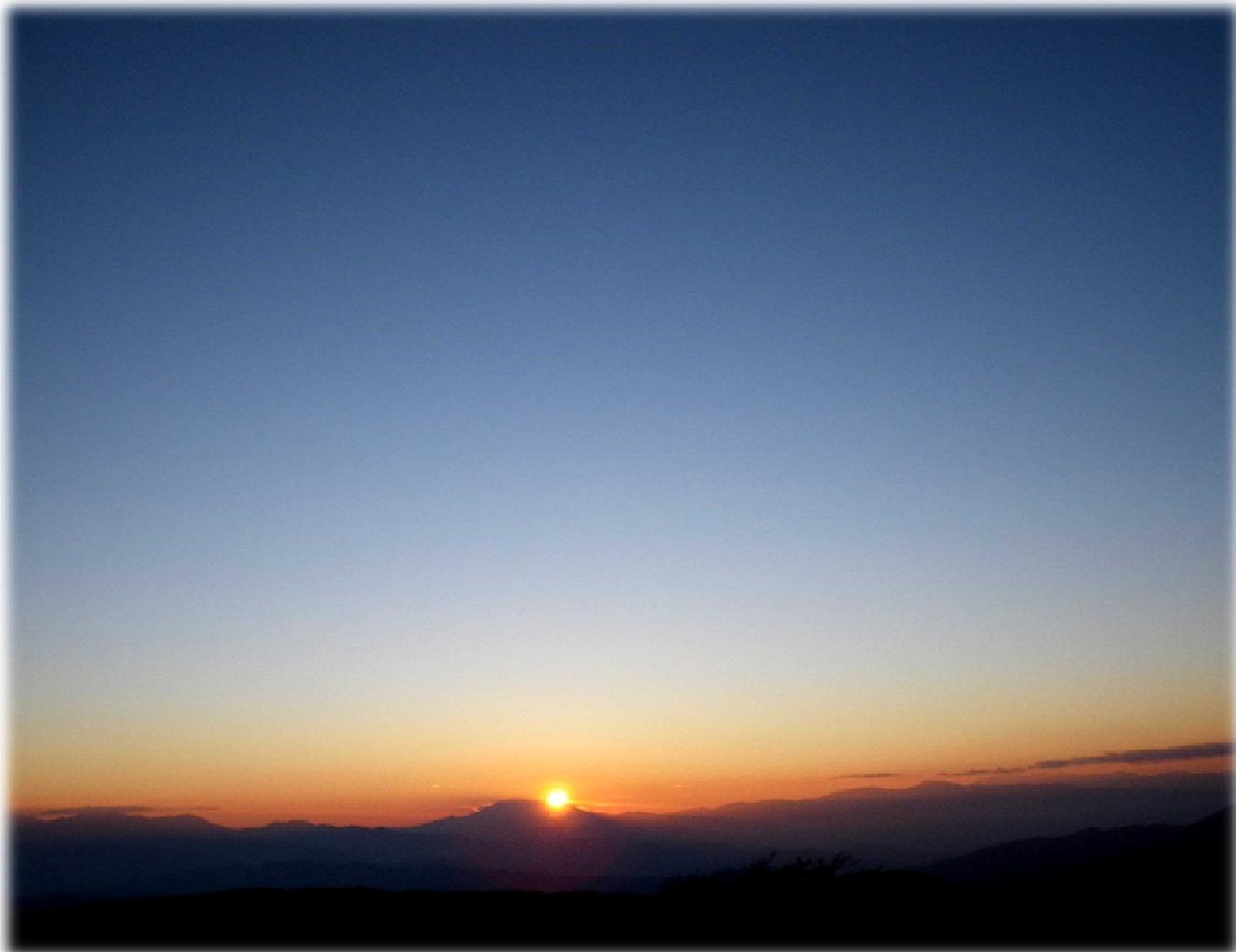
〒393-0061 長野県諏訪郡下諏訪町3236番地 Takafactoryさま2階

TEL 090 9668 3380

e-mail kirigamine.kikin@gmail.com

URL <http://kirigamine-fund.jp>

ブログ 「霧ヶ峰のWA!」 <http://blog.canpan.info/kirigamine-wa/>



## この世界は、

晩秋のある日。10人ほどのお客さまと一緒に夕陽を見に出かけました。

霧ヶ峰の中でも美しい夕陽が見られるサンセットポイントのひとつにお客様をご案内し、西の空をしばし眺めました。

風のないおだやかな晴れた夕暮れ。霧ヶ峰にいてもこんな日はそう多くはないのかもしれませんが。

ちょうど御嶽山の頂上に夕陽が差し掛かり、空はあかね色を帯びはじめました。

そこにいた誰もが息を呑み、言葉を失うシーン。わずか数分、刻々と変わる西の空と光の色彩は、そこにいた人たちの記憶にくっきりと刻みこまれたかもしれません。

感動を分かち合う人とともにいたこと、そしてこの景色に出会えたことに、心より感謝します。

**めぐりあいの重なりで、できている。**



## (財)長野県緑の基金「森の恵み、地域の恵み再発見」 ～信濃の国で物語をつくろう～ ガイド受託しました。

財団法人長野県緑の基金が「平成20年度子どもゆめ基金」の助成を受けて行なう「森の恵み、地域の恵み再発見プロジェクト」の霧ヶ峰草原プログラムについて、NPO法人霧ヶ峰基金がガイド役をつとめました。

このプロジェクトは長野県内15の地域で実施され、子ども達の目線で長野県の自然や文化に触れ、子ども達自身が教材を作り上げ、それらを通じて大人が地域を知り、子どもたちが未来に地域をどのようにしていきたいのかをより多くの人に伝えたり、共有したりすることを目的としています。

その中の霧ヶ峰高原では諏訪地方事務所環境課がコーディネーターとなり、長野県霧ヶ峰自然保護センターを拠点に全5回のプログラムが行われ、10月19日にすべてのプログラムが終了しました。

第1回は八島ヶ原湿原を中心に湿原のでき方や周囲の環境、湿原に生育する植物についてとそれにまつわる地元に伝わる民話について。

第2回は強清水から車山肩にかけての草原の様子や、園地周辺にある樹叢の観察。

第3回は昔の霧ヶ峰の姿を、かつて霧ヶ峰へ草刈り



に来られていた方や、古くから山小屋を営まれていた御主人からお伺いをしました。また、この回では霧ヶ峰の将来について検討を重ねている「霧ヶ峰みらい協議会」の説明もありました。

第4回は霧ヶ峰の歴史について。旧御射山神社の下社例祭の神事を見学した後、八島ヶ原湿原の周囲に多く分布する旧石器時代の遺跡について、各遺跡の所在地をめぐり、遺跡の特徴や見つかった遺物について解説をいたしました。

第5回はまとめの「霧ヶ峰の物語」作りを行いました。

子どもたちは、全5回のプログラムで学習したことを思い出しながら、「昔の人は霧ヶ峰に何をしにきていたのかな?」「未来にどんな霧ヶ峰を伝えていきたいかな?」など、10個のテーマにそって思い浮かんだキーワードをカードに記入し、そのキーワードをもとに霧ヶ峰の物語を作りました。

子どもたちの個性あふれる目線や感性、思いもよらない発想に大人のほうが「はっと」驚くことが多く、改めて霧ヶ峰のすばらしさに気付くことができました。

この霧ヶ峰の物語は、県内の他の開催地で作られる物語とともに、平成20年度中に公開される予定です。(公開時期やURL等は決定次第、随時お知らせしてまいります。)

(担当：降旗香代子)



## 上諏訪街道「秋の呑み歩き」に出展しました。

10月4日(土) 諏訪市内の国道20号線沿い(通称:上諏訪街道)に軒を連ねる造り酒屋5軒が中心となり開催する「上諏訪街道・秋の呑み歩き」に出展しました。

この「呑み歩き」に先立って9月14日に行われた「諏訪五蔵」主催イベント「霧ヶ峰・福ひろいウォーク」の様子をパネルにし、拾ったゴミの数や種類、実際に拾われたゴミの一部も展示しました。



「造り酒屋が山でゴミ拾い?!」と驚かれるお客様が多かったですが、霧ヶ峰の水と酒屋さんの関係をお話しすると、みなさんナットク。興味深くパネルをご覧になるお客様が多くいらっしゃいました。展示にあたり、諏訪五蔵のみなさま、宮坂醸造さま、霧ヶ峰自然保護センターさまのご協力をいただきました。まことにありがとうございました。



## コラム・シカの食痕

北海道での学生時代、大学院の受験費用を稼ぐため、環境省の委託によるエゾシカの食害調査をしていました。その際、針葉樹と広葉樹の混交林である釧路市阿寒町の前田一歩園内を調査したのですが、晩秋、エゾシカに食べられている広葉樹を多数見ました。科で言うとバラ科、ユキノシタ科、ニシキギ科。

調査を指導していただいた地元博物館の学芸員さんと一緒に、食害区の植生調査の合間に、木の皮を剥ぐ理由を考えたのですが、なにより針葉樹よりは食べやすいということに落ち着きました。理由は皮をはがしやすい。ヤニ等が少ない。学芸員の先生曰く「エゾシカもそう思っただろう。」

しかし、本当に食べ物がなくなると、好き嫌いを言っただけではいられず、針葉樹の皮も食べられているのも確認しています。学芸員の先生曰く、「生きていくには好き嫌いはいってられない。エゾシカもそう思っているだろう。」

また、食べるべき樹木がなくなると、シカの背丈では不可能な高さで広葉樹に食痕が見られるようになります。

「しかし、どうやって?」  
学生時代の私の答えは、「前足を木に掛ければあの不可能な高さの木の皮も食べられるのでは。」

学芸員の先生はどうかかなという顔つきでした。しかし春になるとおのずと答えが見つかりました。

調査箇所でも木の枝に前足を掛けたまま餓死したエゾシカが発見されました。食べるものがなくなった頃、やっと見つけた木の皮を食べたままではよかったです。不幸に前足が枝に引っ掛かり、身動きが取れなくなったようです。私の推測は当たったのですが自然の厳しさを感じた出来事でした。

再び学芸員の先生曰く「猟銃にも当たらず、前足を木の枝に引っ掛けずに木の皮を食べられるエゾシカがこれからは残れるのだろうか。そ

れが進化かな。我々が調査し、方策を検討している間に連中も進化している。」

霧ヶ峰の津々浦々で二ホンシカによる樹木の食痕が多数見られると思います。食痕を見つけた際、どの高さまで食痕があったか確認し、どうやって食べてかを想像してみてもいいでしょうか。

万が一、前足を木に掛けたまま餓死したシカを見つけても、それが自然かもしれません。また、高い位置に食痕だけあった場合は、前足を木の枝に引っ掛けずに木の皮を食べられるちょっと進化したシカが出てきている兆候かも知れません。

自然は絶えず変化、変動をしています。そのため、野生生物保護管理は、常にモニタリングを行いながらその結果に合わせて対応を変えるフィードバック管理(順応性)が必要です。

わたくしどもも霧ヶ峰を歩いていて、ちょっとしたことでも気付いたことあれば随時発表していきたいと思っております。それが霧ヶ峰の保全に役立つと思います。

(理事長・小原 宏文)



# Topix & Topix

信州・諏訪温泉泊覧会「ズーラ」プログラム  
晩秋の霧ヶ峰・夕陽から宵闇ウォーキング  
おかげさまで満席御礼！

2008年11月1日、信州・諏訪温泉泊覧会「ズーラ」  
のプログラムのひとつとして、晩秋の夕暮れの霧ヶ峰を  
楽しむツアーのガイドを行いました。

夕暮れ間近の霧ヶ峰に集合し、夕陽が落ちるまでたっ  
ぷり草原を散策。その後あったかな山小屋であったか  
い夕食と霧ヶ峰の水で丁寧に淹れたコーヒーを楽しみ  
ながら小屋のご主人たちのお話をうかがうという、プ  
レミア感たっぷりのツアーでした。

参加者はなんと女性ばかり。和気あいのプログラ  
ムは終始なごみムード。

雲ひとつない晴天と穏やかな風に恵まれ、日没後は  
光あふれる「天の川」を眺めるというぜいたくな旅と  
なりました。



ご支援いただきました、ころぼっくるひゅってさま、  
「ズーラ」スタッフのみなさん、そして霧ヶ峰のお天  
気とご参加みなさまの笑顔に心より感謝申し上げます。  
最高の夕暮れをありがとうございました！

ぶらりしもすわ・秋の三角八丁  
出展しました。

2008年11月2日、春秋恒例になった「三角八丁」  
に出店、パネル展示や手ぬぐいの販売などおこないま  
した。

ご協力いただきました、みたまちおかみさん会さま、  
Takafactoryさま、NPO法人匠の町しもす  
わ・あきないプロジェクトさま、ありがとうございました。

株式会社丸高蔵さまのお歳暮のご案内に  
冬の霧ヶ峰の画像を提供いたしました。

諏訪市内で「素朴でほっとする味噌」を造り続けてい  
る、(株)丸高蔵さまのお歳暮のご案内に、冬の霧ヶ峰  
の画像を提供いたしました。

## 【お問い合わせ】

株式会社 丸高蔵

〒392-0022 長野県諏訪市高島 1-8-30

TEL 0266-52-613 FAX 0266-52-5312

URL <http://www.suwa-marutaka.jp/>



いつもご支援ありがとうございます。

寄付金(2008年9月1日～10月31日)を2,000円いただきました。

また、郵便切手のご寄付をいただきました。

これらのご寄付は活動を通じて霧ヶ峰の環境保全とエコツーリズムの推進に活用されます。

【ご寄付くださった方々】 福嶋さま(国分寺市) 町田さま(兵庫県)ほか  
霧ヶ峰基金は活動の趣旨にご賛同してくださる方の寄付金を、随時受け付けております。

金額は1円以上から、下記の郵便口座までお願いいたします。

全国の郵便局からいつでもお手続きいただけます。(手数料はご負担ねがいます。)

・口座番号 00520-7-44684

・加入者名 特定非営利活動法人 霧ヶ峰基金

ご寄付をいただいたかたのお名前の取り扱いについて

2008年4月より寄付金をいただいたかたにつきまして、金額等に関わらずご本人様が希望されない場合を除き、会報上にてお名前をご紹介します。あらかじめご了承ください。(お名前のご紹介を希望されない方は、その旨をお知らせください)

## 活動記録(2008年9月1日～10月31日)

9月	2日	・諏訪アライアンスプロジェクトさいか 打ち合わせ
	7日	・情報収集(観音沢・霧ヶ峰高原)
	13日	・情報収集(霧ヶ峰高原)
	14日	・諏訪五蔵「霧ヶ峰・福ひろいウォーク」ガイド ・受託ツアー、催行
	18日	・「森の恵み、地域の恵み再発見」ガイド打ち合わせ
	21日	・「モニタリング1000」植物相調査
	23日	・「森の恵み、地域の恵み再発見」ガイド
	27日	・「森の恵み、地域の恵み再発見」ガイド
	28日	・「モニタリング1000」水環境調査 ・会報2008年10・11月号発行
10月	2日	・信州・諏訪温泉博覧会「ズーラ」打ち合わせ
	4日	・「上諏訪街道 秋の呑み歩き」出展
	8日	・諏訪アライアンスプロジェクトさいか うちあわせ
	12日	・打ち合わせ会
	13日	・情報収集(霧ヶ峰高原) ・「モニタリング1000」水環境調査
	19日	・「森の恵み、地域の恵み再発見」ガイド
	25日	・「モニタリング1000」植物相調査
	26日	・諏訪市霧ヶ峰高原再生雑木処理作業 参加

(2008年10月末日現在) 個人特別会員46名 個人一般会員65名 法人会員3団体 正会員10名

## オリジナルグッズ、好評販売中です。

草原に咲く花を集めたポストカードに、オリジナルデザインの「かまわぬ」製日本手ぬぐい。使い勝手のいいこだわりのグッズです。お手元でどうぞご愛用ください。通信販売もしています。

【オリジナルポストカード】

5種各1枚入り 450円

ニッコウキスゲ、マツムシソウ、  
クリンソウ、アヤメ、コウリンカ



【オリジナル日本てぬぐい】

各1枚 1,200円

右から「月夜の霧ヶ峰」  
「紅輪花」  
「アカバナシモツケ」



### <通信販売のご案内>

郵便局に備え付けの払込票でお申し込みください。

通信欄にご希望の商品名と個数、お届け先の住所、氏名、電話番号をご記入ください。

- ・配達日時指定及びギフト包装はいたしかねます。また、日本国内の配達に限定させていただきます。
- ・白い会員証をお持ちの個人会員(含家族会員)さまおよび法人会員さまは商品を1割引でご購入いただけます。通信欄に会員番号をご記入ください。

商品代金に加えて発送手数料300円を以下の口座にお払い込みください。(払込手数料はお客様のご負担をお願いいたします)

加入者名 **NPO法人霧ヶ峰基金** 口座番号 **00520-7-44684**

入金確認後、1～2週間以内に商品を発送いたします。普通郵便またはクロネコヤマトメール便でお届けいたします。

### <ご注意>

- ・返品、お取替えは商品到着後1週間以内にご連絡ください。不良品はお取替えいたします。
- ・お客様のご都合による商品のお取替えや返品の場合は返送料のご負担をお願いいたします。商品代金はお客様ご指定の金融機関口座に振込手数料と発送手数料を差し引いた金額をお返しいたします。
- ・オリジナル手ぬぐいは1枚1枚職人の手染めでございます。若干の色ムラやずれがある場合がございますが、手作りの風合いとしてお楽しみいただけましたら幸いです。

NPO 法人霧ヶ峰基金の活動を支援して下さる法人会員のみなさまです。



株式会社エルシーブイさま



株式会社永田製作所さま

株式会社クリンビー

株式会社クリンビーさま

NPO法人霧ヶ峰基金は活動を支援して下さる企業・団体さまのご入会を随時受け付けております。お問い合わせはNPO法人霧ヶ峰基金事務局 (e-mail kirigamine.kikin@gmail.com.) にて承ります。

## 【会員の皆様へ】第6回ツキイチ定例会 new year special のお知らせ

12月はお休みし、1月はお正月企画です。お友達やご家族、入会ご希望の方も歓迎です。



日時 2009年1月2日(金)  
旧御射山神社に初もうでに行きます。

集合 午前10:00  
霧ヶ峰高原強清水・霧ヶ峰スキー場駐車場  
(公衆トイレの近くにお集まりください。)

持ち物 長靴または防水シューズ  
(場合によってはスノーシュー)、スパッツ、  
帽子や手袋など防寒具、  
ゴーグルまたは  
サングラス、お昼ご飯、  
飲み物など。  
(紫外線対策をお忘れなく!)

参加費 無料(傷害保険加入済み)

お申し込み 2008年12月25日(木)までに  
事務局へお申し込みください。



### ご参加にあたって

- ・服装など装備が不十分で参加者の身に危険が及ぶことが予測される場合には、参加をご遠慮いただく場合がございます。スノーシューのレンタル等はありません。
- ・木道の歩行が危険であると判断される場合には、催行を中止いたします。また、悪天候が予想される場合やビーナスラインの車両通行が困難または著しく危険とされる場合には催行を中止いたします。
- ・集合やお帰りの際のお車の運転に関しましては十分お気をつけください。主催者では責任を負いかねます。

## 「モニタリング1000里地調査」参加中! モニタリング調査レポート

今年度のモニタリング調査は植物相調査が10月で、水環境が11

月で終了しました。(10月25日にまだマツムシソウが咲いていた場所があり、少々驚きました。はたして、種子になれたのでしょうか...気がかりです。)

なか出会うことが少ない花との出会いもあり、地味ながら何とも楽しい作業であったと思います。

現在、今年度分のデータを集計中であり、完了次第関係各所にご報告を差し上げる予定になっております。

多くのみなさまのご協力いただき、誠にありがとうございます。次年度は2008年5月に再開予定です。

お花の名前を覚えたい人、おススメです!ぜひご参加ください。(担当:降旗香代子)



**編集後記** 紅葉の季節は過ぎ去って、里にも空から雪が舞い落ちる季節になりました。冷たい風はときどき、雪のにおいを運んで来て、「ああ、どこかで雪が降っているのだなあ」と感じます。霧ヶ峰の草原は雪に埋もれて、静かな静かな季節になります。あの、「ぴん」と張った空気を思い起こすと身の引き締まる気がします。おこたつで緩みきってる我が身をちょっぴり反省...。(か)

次号 2009年2・3月号は2009年1月下旬発行です。